

## I. 広東省

### 1 広東省でガソリン価格が値上がり

●10日0時、広東省でガソリン価格が引き上げられ、92号ガソリンは1リットルあたり7.50元(0.21元上昇)、95号ガソリンは8.13元(0.24元上昇)となり今年最大の上げ幅となった(10日付「広州日報」14面)。

※中国では10営業日ごとに原油価格の変動に応じて価格調整が行われており、値下がりすることもある。

### 2 李希・省党書記が潮州市視察

●9日～10日、李希・書記が潮州市に赴き、貧困村、公安検査ステーション、水源保護地を視察・研究した。まず饒平県樟溪鎮英粉村を視察し、青年幹部から農村振興活動の状況についての報告を聴取した。その後李希・書記は病気による貧困家庭を視察し、現地関係部署に貧困者に対する医療保険傾斜政策を実行に移し、困っている人が現実抱えている課題を解決するよう要求した。饒平粵・閩公安検査ステーションでは警察の配備、安全検査対策、応急処置の状況を把握するとともに、潮州市の犯罪組織の取締活動に関する報告を聴取した。潮州広濟橋では李希・書記は実地に韓江の飲用水源保護状況を検査した。また韓文公祠清廉政治教育基地を訪れ、潮州市における清廉な政治教育の展開、文化的建設と文化財保護の状況に関する紹介を聴取した(11日付「南方日報」1面、3面)。

### 3 反腐敗にかかる処分

●中央紀律検査委員会・国家監察委員会のホームページによれば、曾志權・省党常務委員兼統一戦線部長は重大な規律違反・違法行為の疑いで目下、同委員会が規律審査・監察調査中である(12日「南方日報」1面)。

### 4 ビットコインを使ったサッカー賭博大規模検挙

●最近、公安部の指揮の下、省公安厅は広東省21市の公安機関を組織し「インターネット浄化インターネット安全9号」サッカー・ワールドカップ・インターネット賭博違法犯罪撲滅一斉取締りを同時展開し、20余りの事件に関わっていたグループの摘発、540名あまりの容疑者の逮捕、70以上の賭博用アプリと70余りのホームページ、250以上のSNSチャットグループの閉鎖、事件に関わりのある2.6億元あまりの凍結に成功し、サーバー、パソコン、携帯電話、銀行カード等事件に関わりのある物品一まとめを押収した。その中でもサッカー・ワールドカップ期間中初めて、ビットコインを利用した大規模サッカー賭博を摘発し、同事件で動いた資金は100億元以上であり、目下摘発された事件の中で最も代表的な新型のネット・サッカー賭博案件となった(12日付「広州日報」15面)。

## 5 広東・香港経済技術貿易協力交流会が香港で開催

●12日、2018 広東・香港経済技術貿易協力交流会が香港で開催された。広東省商務庁の最新統計によれば、香港の対広東省実行ベース投資金額は累計 2,728.5 億米ドルで広東省が実際に利用した外貨からの投資総額の 2/3 を占めている一方、広東省の香港での実行ベース投資額は 775.1 億米ドルで広東省の対外投資実行ベース総額の 6 割を占めている（13 日付「南方日報」1 面）。

## 6 珠海市と東莞市が越境 e コマース試験区を新設

●13日、李国強・国務院総理が国務院常務会議を主宰し、同会議で越境 e コマース総合試験区の新設が決定された、広東省からは珠海市と東莞市に試験区が作られる（14 日付「南方日報」1 面）。

※今日越境 e コマース試験区の新設が認められたのは全国で北京、フフホト、瀋陽、長春、ハルビン、南京、南昌、武漢、長沙、南寧、海口、貴陽、昆明、西安、蘭州、アモイ、唐山、無錫、威海、珠海、東莞、義烏の 22 市である（14 日付「南方日報」1 面）。

## 7 陽江原子力発電所 5 号機の営業運転の条件が整う

●12日 21 時、中国広核集団陽江原子力発電所 5 号機は順調に 168 時間のデモ運転を完了し、運転状態も安定しており、営業運転の条件が整った（14 日付「南方日報」5 面）。

## II. 広州市

### 1 1～6 月の比較的大きな交通事故発生件数は前年同期比 50%減

●10 日夜、広州市公安交通警察部門が公表した 1～6 月の広州市交通ビッグデータによれば、今年上半期の交通事故死亡者数は 1.32%減少し、比較的大きな交通事故発生件数も前年同期比 50%減少した。広州は全国主要都市交通渋滞ランキングでワースト 13 位となっている（11 日「広州日報」6 面）。

※「比較的大きな交通事故」とは死者が 3 人以上 10 人以下、損害額 1 千万元以上、5 千万元以下の事故とされている。

### 2 広州—ローマ間の直行便が就航

●13 日から南方航空が広州—ローマ間の直行便を就航させる。これは広州で初めてのローマへの直行便で、毎週月・金・日曜日の週 3 便となる。ローマ便就航後、南方航空のネットワークはローマ、パリ、ロンドン、アムステルダム、フランクフルト、モスクワ、サンクトペテルブルクの欧州の 7 大都市をカバーすることになる（12 日付「南方日報」7 面）。

### Ⅲ. 深セン

#### 1 深セン―マンダレー便が就航

● 9 日、東海航空が深セン―ミャンマー・マンダレー便を就航させた。週 2 便（9 日付「深セン特区報」AⅡ 2 面）。

※マンダレーはかつてのミャンマーの首都ヤンゴンの北約 700km に位置し、ミャンマーの中で中国資本にとり最大の拠点となっている。

#### 2 深セン・マカオ中医漢方薬イノベーション研究院が坪山区に設立

● 5 日、坪山区政府、マカオ科技大学、深セン市和順堂医薬会社が共同で設立する深セン・マカオ中医薬イノベーション研究院の署名式典が行われた。何厚鏘・全国政協副主席、黃武・広東省政協副主席、劉潤華・深セン市政協副主席が署名式典に出席した（9 日「深セン特区報」3 面）。

### Ⅳ. 広西チワン族自治区

#### 1 北部湾（トンキン湾）経済区の企業誘致プロモーションが上海で開催

● 10 日、広西北部湾経済区 2018 年企業誘致プロモーションが上海で開催された。同プロモーションでは、経済区の関連産業団地と上海の関連企業、協会が産業配置、生態環境保護、バイオ医薬、イノベーションプラットフォーム等の分野で 9 つのプロジェクト協力協定に署名し、投資意向金額は 42 億元に達した（11 日付「広西日報」6 面）。